

安全と共に未来に進む
関西の産業を守る



経済産業省
中部近畿産業保安監督部近畿支部

産業保安監督部とは

産業保安監督部は、**経済産業省の地方支分部局**です。

産業保安分野(高圧ガス、電力 (原子力を除く)、都市ガス、LPガス、鉱山、火薬類)について、
高圧ガス保安法や電気事業法等の各法律により、
規制業務を実施している組織です。



▶ 30秒動画で解説

経産省
産業保安監督部の紹介！

高圧ガス



コンビナート・高圧ガスプラント

電力



電線・鉄塔

鉱山



鉱山採掘場

都市ガス



都市ガスパイプライン

火薬類



爆薬・爆発時

LPガス



LPガスボンベ

近畿支部の役割

中部近畿産業保安監督部近畿支部は、

近畿地区2府5県（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）の
上記産業保安分野の**事業者に対する立入検査等**を実施し、

自主保安を促進するなど、効率的かつ実効性のある産業保安を推進しています。

また、**鉱害（公害）防止事業への支援**を通じて、環境の保全を図ることにより、
国民の安全の確保に努めています。

経済産業省の組織体制



近畿支部は、中部地区を管轄する中部近畿産業保安監督部をはじめ他の産業保安監督部と同様の規制業務を担っています。

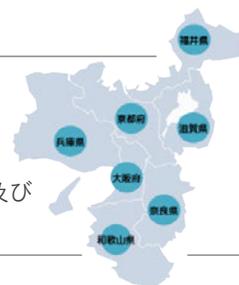
中部近畿産業保安監督部近畿支部のご紹介

平成17年4月、産業事故に対する社会的関心が高まるなか、産業保安の確保に一体的に取り組むため、鉱山保安監督部に経済産業局の産業保安分野が統合され、鉱山、電気、ガス、火薬等の保安を担う産業保安監督部に組織改正され、中部近畿産業保安監督部近畿支部が発足しました。

令和6年7月、産業保安・製品安全や化学物質管理の安全等規制について、近年のDXやGXの動向に適切に対応するとともに、引き続き国民の安全な生活を担保するため、産業保安、製品安全、化学物質管理に係る部署を大臣官房に移管し、規制側を推進側から分離させた新たな体制を構築しました。

管轄区域 近畿2府5県 (福井県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県)

※電力安全の担当地域について
兵庫県の赤穂市の一部地域及び福井県の嶺北地域を除き、岐阜県の不破郡関ヶ原町の一部地域、三重県の熊野市の一部地域及び南牟婁郡の地域を管轄しています。



職員数 約40人 (うち技術系職員 約9割)

勤務地 大阪市内 (大阪合同庁舎第1号館・天満橋)

人事交流 同じ経済産業省の地方支分部局の一つである「近畿経済産業局」とも密接な人事交流をしています。



女性職員も活躍中

近畿支部各課の業務

管理課

支部内研修の様子



部内の総合調整、
人事、文書、広報、研修等に関すること。

保安課

貯槽



都市ガス、液化石油ガス、高圧ガス、火薬類、
石油コンビナート等に関する災害を防止し、
公共の安全を確保するため、事業者等への立入
検査、保安・事故情報の提供等を行っています。
また、各種申請・届出の審査、許認可等の事務
処理を行っています。

ガス・火薬等の保安業務



30秒動画で解説

電力安全課

電気事業法に基づく立入検査



発電所（原子力を除く）、送電線、配電線、変
電所、工場、事業場等の電気工作物に係る安全
を確保するため、立入検査、保安・事故情報の
提供等を行っています。また、電気に関する国
家資格等の審査業務、発電所の環境保全対策や
再生可能エネルギー施設の安全を確保する業務
を行っています。

電力保安業務



30秒動画で解説

鉱山保安課

鉱山探掘現場



鉱山・製錬所の保安を確保するとともに、周辺
環境への鉱害を防止するため、鉱山への立入検
査等による監督・指導業務を行っています。
また、災害又は鉱害が発生し法律違反が認めら
れた場合、特別司法警察職員としての業務を
を行っています。

鉱山保安業務



30秒動画で解説

中部近畿産業保安監督部近畿支部の職員

中部近畿産業保安監督部近畿支部では、
近畿地域における「国民の安全の確保」と「環境の保全」を組織目標に掲げ、
多くの技術系職員が、技術的な知識やスキルを活かし活躍しています。
特に、次の点に留意し業務活動を行っています。

「現場主義」

事業者・関係者のヒアリングの他、現地調査を実施

「挑戦主義」「組織主義」(チームワーク)

直面する課題や、より効果的な保安行政のあり方などについて、
職員間で活発な議論を行っています。



事故発生現場で、原因究明に向けて調査する職員
(警察、消防、地方自治体との合同捜査・調査風景)



近畿支部内での
問題解決に向けた職員間の議論

研修制度について

採用時に経済産業省で新規採用職員研修があります。その後、OJT（職場内教育）に加え、配属先の業務に応じた専門的な知識を学ぶ研修も用意されているので、初めての業務でも安心して取り組めます。さらに近畿支部では配属課を横断した支部内研修も実施しています。

若手職員を主とした支部内研修の様子(関西電力送配電にて)



実際の設備の見学、操作体験等を実施し、電気設備の知識を学びました。

現地研修の様子(関西電気保安協会にて)



受電設備の構成及び各高圧機器について学びました。

ワークライフバランス

国家公務員には近年、働き方の多様化に向けた様々な支援制度が導入されています。

年次休暇が年間 20 日（採用年は 15 日）付与されます

そのほか、**特別休暇**（夏季休暇、結婚・出産に関する休暇、男性向けの子供が生まれるときの育児参加休暇等）、**病気休暇**や**介護休暇**などが利用できます。

その上で、当支部では職員のワークライフバランスの実現に向けて、**長時間労働の縮減**、**月 1 回の年次休暇取得**を推進しています。

テレワーク（在宅勤務）の活用を奨励しています

新しい働き方の形として、**テレワーク（在宅勤務）**の活用を奨励しており、職員が働きやすく充実した職場環境を目指しています。

よくあるQ&A

Q. 勤務地はどのようになっていますか？

採用後の勤務地は大阪市です。

ただし、キャリアパスの過程で、期間限定で経済産業省本省（東京・霞が関）等への出向があります。

Q. 学部・学科によって有利・不利はあるでしょうか？

試験区分、出身大学に関わらず**人物本位**で採用を行っています。また、上記のとおり研修制度が充実していますし、もちろん先輩職員からも学ぶことができるので、安心して業務に取り組めます。

Q. 現場に出かける機会が多いでしょうか？

担当している業務や時季によっても異なりますが、

立入検査等の出張と執務室内での業務の割合は**2：8**程度です。

『ものづくりの最上流で、働く人々の「命」と「暮らし」を守る。』

【仕事内容】

鉱山で働く方々の安全を守るため、現場の立入検査や指導を行っています。現場に潜む危険の指摘はもちろん、書類審査や講習会の開催など、現場と制度の両輪で「災害ゼロ」の環境づくりに取り組んでいます。

【やりがい】

鉱業は、ビルや道路の材料を生み出す「ものづくりの最上流」です。自然相手の現場でリスクを見抜き、自分の指摘によって安全対策が改善された時、社会を根底から支えているという大きな誇りを感じます。

「堅そう」なイメージを持たれがちですが、実際は気さくな先輩ばかりで相談しやすい職場です。充実した研修や全国の職員との交流を通じて、未経験からでも着実にプロフェッショナルへと成長できます。

R5採用
鉱山保安課
デジタル・電気・電子



『「法律」×「技術」正解のない問いに、答えを導き出す。』

【仕事内容】

事業者が電気設備を適切に管理しているか、立入検査や書類の審査を行っています。「自主保安」が原則の電気業界において、その管理体制が適正かどうかを客観的な視点からチェックする重要な役割です。

【やりがい】

急速な技術の進歩に、法律の改正が必要な場面もあります。だからこそ、法律と技術の両面から情報を整理し、事業者が納得できる「最適解」を導き出したときや、自分自身の知識が深まったときに大きな手応えを感じます。

「採用人数が少ない」と不安に思うかもしれませんが、全国の同期と密に繋がれるので心強いです。先輩への相談のしやすさや休暇の取りやすさも抜群。ぜひ私たちと一緒に働きましょう！



R6採用
電力安全課
化学



『小さな「違和感」への気づきが、まちの大きな「安全」を守る。』

【仕事内容】

高圧ガスや火薬類といった、一歩間違えば大きな事故につながる物質の規制・監督を行っています。許認可や立入検査での指導に加え、事故情報の共有や啓発活動を通じ、事故を未然に防ぐのが私たちのミッションです。

【やりがい】

重大な事故の多くは、日常に潜む「小さなトラブル」や「些細な予兆」から始まります。事業者との対話を通じてリスクを見極め、改善へ繋げることで事故を防ぐ。自分の仕事が社会の安全に直結していると実感できる瞬間です。

「専門知識がないと無理」と思っていませんか？実は、学生時代の専攻とは異なる分野からスタートした職員も多く活躍しています。手厚い研修とサポートで、入省後に知識を身につけられるので安心してください。「守る」仕事に興味がある方を待っています！



H31採用
保安課
機械



『知識ゼロからスタートし、頼られる「電力のプロ」へ。』

【仕事内容】

電気事業法に基づき、届出審査や立入検査など、電力の安全を守るための規制業務を担っています。座学や現場視察など研修制度が充実しており、全国の仲間と共に、法令と設備の知識を基礎からしっかり学べる環境です。

【やりがい】

高い専門性が求められますが、最初は知識ゼロで大丈夫です。日々の業務を通じて理解を深め、以前はわからなかった質問に的確に答えられるようになり、事業者からいただく「ありがとう」という感謝の言葉が大きな自信につながっています。

職場は和気あいあいとしていて、有給休暇もしっかり取れる環境です。私自身、まだ勉強中の身ですが、先輩たちに助けられながら安心して仕事に取り組んでいます。説明会に来ていただければ、この温かい雰囲気がきっと伝わるはず！



R7採用
電力安全課
デジタル・電気・電子



現場の日

～アクティブに安全を守る～

09:00～ 始業・移動

メールチェックを済ませたら、安全靴を履いて自宅を出発。駅で同僚と合流して、現場へ向かいます。

10:00～ 現場到着・着替え

到着したら防災服に着替え。まずは書類のチェックから。不備がないか確認します。



12:00 出張先ランチ

現場周辺は飲食店が少ないことも…。事前リサーチが重要です。

13:00～ いざ、実地検査へ

設備を見て回ります。問題があればその場で指摘。みんなの安全を守るための大切な仕事です。

16:00～ 任務完了！

検査結果をまとめて事業者に伝え、改善を指導し、検査終了。着替えてそのまま直帰！



17:45 おつかれさまでした

集中して現場を歩きクタクタ…。今日はまっすぐ帰って、ゆっくり身体を休めます。

出勤の日

～チーム連携とスピード対応～

09:00～ 始業

オフィス（合同庁舎）に到着。メールを確認して、急ぎの案件があれば即対応！朝はスピード感が大事です。

10:00～ 情報伝達

事故速報が入ればすぐに本省(東京・霞が関)へ共有。事業者からの電話相談などもあり、午前中は大忙し！



12:00 ランチ

周辺にお店は多いけど、人気店は行列必至。同僚と美味しいランチへGO！

13:00～ 審査・計画

許認可の審査業務や、次の出張計画など打合せ。段取り力が試されます。チームで協力し業務を進めていきます。

16:00～ 明日へ向けて

今日一日のまとめと、明日以降の業務計画を立てます。残った時間は新しい知識のインプットに。



17:45 お楽しみはこれから！

仕事が終わればショッピングや食事などを楽しめて、オフの時間も充実。

在宅の日

～集中力MAXでクリエイティブに～

09:00～ 始業

自宅でPCを開いて業務開始。メール確認やスケジュール調整から、スムーズに一日が始まります。

10:00～ 資料作成

誰にも邪魔されない環境で、講演資料や会議資料の作成に集中。クリエイティブな作業がはかどります。



12:00 自由なランチ

人にも会わないし「ニンニク増し増しラーメン」を食べてパワーアップ！

13:00～ オンラインで会議

表彰式などの課内会議をWebで実施、懸案事項を共有。午前中に作った資料の意見交換など、最新の事故情報を盛り込む作業も。

16:00～ ラストスパート

会議の記憶が鮮明なうちに資料を修正、講演の原稿も仕上げ、1日の業務を報告し終了。



17:45 即、プライベート

PCを閉じればそこは自宅。趣味の時間や、家族との食事をゆっくり楽しみます♪

中部近畿産業保安監督部近畿支部には、
現場などの直接的な保安行政を通じて、
我が国の未来の発展に貢献しつつ、
自らを完全燃焼させられる場所がきっとあります。

中部近畿産業保安監督部近畿支部

所在地

〒540-8535
大阪市中央区大手前1-5-44
大阪合同庁舎第1号館

最寄り駅

Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅下車（3号出口）
京阪電鉄「天満橋」駅下車

TEL

管理課 06-6966-6061
保安課 06-6966-6050
電力安全課 06-6966-6047・6048・6052・6056
鉱山保安課 06-6966-6062

Website : <https://www.safety-kinki.meti.go.jp/>

X (旧Twitter) : https://x.com/kinkan_tweet



Website



X (旧Twitter)